

昭和六十一年度現代宗教研究所事業報告

1、第十九回中央教化研究会議開催

期 日 昭和六十一年九月三日(水)・四日(木)

会 場 池上本門寺・朗峰会館

宿 舎 朗峰会館

開催趣旨

- ①お題目総弘通運動二年目にあたり、運動の現状をふりかえつつ、お題目の説き方唱え方を語りあい、現代社会に対応する運動の進め方について話合う。
- ②信行会活動を中心とする当面の運動プランについて検討し、どのように寺院(教会・結社)・管区・教区・関係機関で具体化すべきかについて話合う。
- ③それぞれが「私のお題目総弘通プラン」を出しあい、草の根の運動を展開する拠点としての教化センターづくりのために、何をすべきかについて話合う。

統一テーマ

——お題目総弘通運動の推進をめざして——

会議形式

1 全体会議

①基調報告 長谷川正徳(現代宗教研究所々長)

「いま、なぜお題目なのか」

②事例発表 外山 寛穂(東京都円珠院住職)

「テレフォン相談室の活動」

太田 鳳苑(愛知県妙延寺住職)

「はじめ・非行問題とお題目総弘通」

2 分散会(話し合い項目七つのポイント)

①お題目総弘通運動の趣旨徹底について、どのように考えていますか。どんな取り組みをしていますか。

②運動を推進するために、寺院・管区・教区・宗門全体では何をすべきだと思いますか。また、どんなプラン化や取り組みがなされていますか。

③各寺の信行会を活発にしていくなために、どのような活動を行っていますか。

④「なんのためにお題目を唱えるのか」「今なぜお題目なのか」「本宗と新興宗教のお題目のちがいはどこにあるのか」など、お題目の意義と功德について、どう考えどのように説いていますか。

⑤檀信徒の家庭に運動を徹底するために、何をすべきだと思いますか。

⑥未信の人々や広く社会に運動を普及するために、どんな取り組みをすべきでしょうか。「お題目の心」を伝え大衆の苦しみを解決してゆく信行活動のあり方はどうあるべきか、考えていきますか。

⑦教師間の教化についての協同化と信行の組織化をはかり、お題目総弘通運動を推進する中央・地域教化センターづくりの方策について、特にどんな点について取り組むべきかを考えていきますか。

参加者

宗務所長より推挙委嘱された運営委員(管区二名)
2、教区・地域教化研究会議開催

十教区にて開催した。開催期日・テーマは、次の通りである。

(イ) 第三回千葉県教化研究会議

三月二十八日 千葉市ロイヤルプラザホテルにて開催

テーマ「寺院―その管理・運営―」

(ロ) 第二回北関東教化研究会議

三月二十八日 群馬県桐生市寂光院にて開催
テーマ「問われる宗教・求められる宗教」

(ハ) 中四国教区広島管区教化研究会議

六月十四・十五日 三次市環翠楼にて開催

現代における教化、お題目の集いなど、その開き方などを討議した。

(ニ) 第八回九州教区教化研究会議

六月二十三・二十四日 熊本市ニュースカイホテルにて開催

総合テーマ「お題目総弘通運動の具体化をめざし

て」

(ホ) 第十六回近畿教区教化研究会議

六月二十八日 奈良市蓮長寺にて開催

テーマ「お題目総弘通運動の展開―宗徒意識の高

揚につとめよう―」

(ヘ) 中四国教区岡山管区教化研究会議

七月九日 岡山市蓮昌寺にて開催

(ト) 第十回北海道教区教化研究会議

八月二十四日 釧路市法華寺にて開催

テーマ「現代における諸問題」

(チ) 第十一回静岡教区教化研究会議

九月十日 伊豆長岡町三溪園にて開催

テーマ「いま、なぜお題目なのか」

(リ) 第十二回京浜教区教化研究会議

十一月七日 東京都千代田区ホテル聚楽にて開催

テーマ「お題目総弘通運動を推進しよう」

(ヌ) 第三回山梨県教化研究会議

十一月十五日 甲府市遠光寺にて開催

テーマ「時代に即応した教師の在り方を考える」

議 題「教師研修講座を開催しての諸問題」

「布教的側面から考える」、「経営的側面から

考える」、「教育的側面から考える」

(ル) 第三回北陸教区教化研究会議

十一月二十一日 福井市妙長寺にて開催

テーマ「お題目総弘通運動の推進をめざして」

(ヲ) 第五回東北教区教化研究会議

十一月二十五・二十六日 山形市ホテルキャス

ルにて開催

テーマ「お題目をどのように唱えさせるのか、そ

の方法について」

(ワ) 第十回中部教区教化研究会議

昭和六十二年三月六日 岐阜市民会館にて開催

(カ) 第四回関東教区千葉県教化研究会議

昭和六十二年三月六日 茂原市にて開催

3、研究・調査活動

〈研究〉

① 研究講座・教化学研究集会の開催

三月第七回、五月第八回教化学研究集会を開催し

た。発表は次の通りである。

◎第七回教化学研究集会発表（三月、大阪市雲雷寺にて開催）

布教の内証……………佐藤憲能（大阪府）

お題目総弘通の一環としての文書伝道

……………三好能生（兵庫県）

人生相談……………小笠原日英（滋賀県）

◎第八回教化学研究集会発表（五月、宗務院にて開催）

脳死問題と日蓮宗教化……………山口裕光（現宗研研究員）

檀信徒からみた日蓮宗教化

……………佐藤策郎（前全国日蓮宗信徒青年会会長）

法座のすすめ方……………鎌田行学（愛知県）

②三月、日蓮聖人の教えの現代的アプローチを目指して、「日蓮聖人研究教学セミナー」を宗務院にて開いた。立正大学仏教学部教授伊藤瑞叡先生を講師に、

「法華経の同時成立」について研修した。また、二

月、中濃教篤・中野文海両現宗研顧問を講師に、新

宗教の研究会を研究員・顧問にて開いた。

③研究例会

昨年来、「現代社会の諸問題と日蓮宗教化」をテーマに研究員間で研究に取り組んで来たが、今年度も以下の研究員が資料と基本的な問題点を分析、まとめた。来年度より諸問題と日蓮宗教化との関わりに取り組んでいく。

脳死と日蓮宗教化（山口裕光）

社会福祉と日蓮宗教化（嶋田堯嗣・鈴木浄元）

教育・非行問題と日蓮宗教化（本良信典・高橋謙祐）

新興宗教問題と日蓮宗教化（片野博義・植田観樹）

現代人の意識と日蓮宗教化（望月兼雄）

④研究・調査活動を、新興宗教研究・寺院調査・お題目総弘通の三部門に分け、専従のスタッフを決めて

プロジェクトを組み、それぞれの研究例会を開いた。

(イ) 新興宗教プロジェクト（片野博義・山口裕光・

植田観樹・神蔵義孝・西片元澄・白部哲応各研究

員）

(ロ) 寺院調査プロジェクト（渡部公容・蓮見高純・

鈴木浄元・本良信典・常岡裕道各研究員・久住謙

是囑託）

(ハ) お題目総弘通運動研究プロジェクト(古河良

昭・大島啓禎・嶋田堯嗣・伊藤立教各研究員)

⑤ 各種伝道教化研究に関する資料を収集し、保管した。

⑥ 教団史研究資料の一つとして、各種資料より「昭和六十年次日蓮宗年表」を作成、配布した。

⑦ 教化資料として、現宗研顧問中濃教篤述「創価学会の徹底的解剖」を作成、配布した。

⑧ 所蔵図書目録作成にむけて関係資料を収集、整理し、保管した。

⑨ 伝道・教化・研究に必要な図書を集めた。
(調査)

⑩ 過疎地域寺院の実態調査の実施

寺院調査の検討を重ね、十月、秋田県・山形県の実態の予備調査と本調査を行なった。北海道利尻島礼文島寺院調査まとめ報告し、佐渡寺院調査、京都二部寺院調査をまとめた。

⑪ 総合企画部の委嘱により、「昭和五十九年度宗勢調査報告書」をまとめ、編集・作成した。

⑫ 新宗教研究のため、仏立宗務院・仏立宗学林、

法華宗本門派興隆学林、PL教団本部、天理教本部を訪問し、関係研究資料を収集し保管した。

四、その他の活動

① 仏教各派教化伝道関係研究所交流会議に参加し、研究所、教化研究の在り方、現代人の精神的危機にどう応えていくかなどについて意見交換を行ない、研究交流を深めた。

② 現代社会の諸問題調査の資料・文献を収集し、教化資料センターの充実に努めた。

③ 管区教化センターと連絡を密にし、お互いのセンターの機能を充実を図った。

④ お題目(七字)の意義・意味について、日蓮聖人遺文より要文を選出して口語訳し、運動テキスト「お題目総弘通運動I(2)」を執筆し、編集した。

⑤ お題目総弘通運動推進に当り、そのプランづくりの意見交換や検討を重ねた。

⑥ 「現代宗教研究」第二十一号を編集し、全寺院に配布した。

⑦ 顧問会議・嘱託会議・研究員会議を開き、研究所・

研究の在り方など討議を重ね、意見交換を重ねた。

⑧ 教区・管内主催各種研究会議・研修会に出張した。